

ドヴォルザーク作曲 **レクイエム** 変口短調 作品89

アントニン・ドヴォルザーク(1841~1904)が1890年(49歳)に作曲した、四声部の独唱と混声合唱、管弦楽のための作品。イギリスのバーミンガム音楽祭のための新作依頼に応え作曲され、初演は翌1891年10月9日、同音楽祭で作曲者自身の指揮で行われた。教会のミサの典礼を想定しない演奏会のための作品で、2部構成となっている。第1部は神への信仰と悲しみや祈り、第2部は死や悲しみから解放された魂の安息がテーマとなっている。バッハの『ミサ曲口短調』の第3曲キリエを思わせる冒頭の半音階の音型が、全曲を通じて繰り返され、レクイエム全体をしまりのあるものになっている。初演の翌年、ドヴォルザークは新天地アメリカに招かれ、交響曲第9番『新世界より』などを作曲した。



指揮者 しもの たつ や 下野 竜也

NHK 交響楽団正指揮者、札幌交響楽団首席客演指揮者、広島ウインドオーケストラ音楽監督、広島交響楽団桂冠指揮者。鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール、2001年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。国内主要オーケストラに定期的に招かれる一方、チェコ・フィル、バルセロナ響をはじめとした国際舞台でも活躍。これまでに読売日本交響楽団正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任首席客演指揮者、広島交響楽団音楽総監督を歴任。東京藝術大学、東京音楽大学にて後進の指導にあたる。齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、有馬賞、広島市民賞、中国文化賞など受賞多数。NHKFM「吹奏楽のひびき」パーソナリティ。

名古屋市民コーラス

1959年発足。1994年からはオーケストラ付き合唱曲に本格的に取り組み始め、31年目となる本年は創立65周年記念演奏会を開催する。多様なキャリアと幅広い年齢層からなる約190名の老若男女が集い、選曲から練習計画、演奏会の運営に至る団運営のすべてを団員が話し合いで決めるなど、自主運営による活動を続けている。

2021年、山本高栄氏を常任指揮者として迎え、新たなスタートを切った。愛知県合唱連盟主催行事である合唱祭やヴォーカル・アンサンブルコンテストに参加。名フィル「第九」演奏会には連盟の合唱団員として積極的に参加している。



2023年 第50回定期 J.S. バッハ「ミサ曲口短調」

団員募集

練習 毎週水曜日(第1週木曜日) 18:30~21:00
毎月1回日曜練習あり
練習会場 名古屋市音楽プラザ、イーブルなごや他
合唱指導 山本高栄(常任指揮者)
ヴォイスレナ 小林史子、谷田育代、波多野均、末吉利行
団費 1ヵ月3,500円(30才未満2,000円 内学生500円)
入団費 500円
ご応募・お問い合わせはホームページの案内をご覧ください

名古屋市民コーラス

検索

今後の演奏活動

- 2025年11月20日(木) 第52回定期演奏会
ベートーヴェン「ミサ曲ハ長調作品86」、コダーイ「ミサ・プレヴィス」
指揮:齋藤友香理 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2026年10月3日(土) World Peace Concert 2026 in NAGOYA
ヴェルディ「レクイエム」
指揮:柳澤寿男 バルカン室内管弦楽団

♪一緒に歌いましょう♪

★最近の主な演奏活動

- 2014 創立55周年 ベートーヴェン「荘厳ミサ曲」
指揮:山下一史 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2015 第44回定期 イギリス宗教音楽の饗宴
指揮:藤岡幸夫 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2016 第45回定期 J.S. バッハ「ヨハネ受難曲」
指揮:本山秀毅 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2017 第46回定期 ヴェルディ「レクイエム」
指揮:川瀬賢太郎 名古屋フィルハーモニー交響楽団
名古屋シンフォニア管弦楽団第70回演奏会出演
指揮:新田ユリ マーラー 交響曲第2番「復活」
- 2018 世界平和コンサート参加 ベートーヴェン「第九」他
指揮:柳澤寿男 バルカン室内管弦楽団
- 2019 創立60周年記念演奏会
1st演奏会 メンデルスゾーン「エリヤ」
指揮:角田鋼亮 名古屋フィルハーモニー交響楽団
2nd演奏会 ブラームス「ドイツ・レクイエム」
指揮:下野竜也 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2022 第49回定期 カール・ジェンキンス「平和への道程」
指揮:柳澤寿男 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2023 第50回定期 J.S. バッハ「ミサ曲口短調」
指揮:本山秀毅 名古屋フィルハーモニー交響楽団